

カルデラ生成噴火

—準備過程の理解にむけて—

1. 鍵山恒臣・森田裕一：カルデラ生成噴火の準備過程の理解に向けて

1章 噴火未遂に学ぶ

2. 鍵山恒臣……………カルデラ生成噴火の準備過程—解明のための作業仮説の提案—
3. 井口正人……………2006年口永良部島火山はなぜ噴火しなかったか
4. 江原幸雄……………九重火山の噴火形態と噴火未遂イベントとしての1995年水蒸気爆発
5. 青木陽介……………浅間山西部におけるマグマの貫入と火山活動
6. 藤井敏嗣……………富士宝永噴火のマグマシステムと噴火未遂

2章 マグマの動きと応力場

7. 森田裕一
…何が山頂噴火とダイク貫入(山腹割れ目噴火)の違いを決めるのか—1986年伊豆大島噴火を一例として—
8. 小林哲夫……………カルデラの研究からイメージされる新しい火山像—
—マグマの発生から噴火現象までを制御するマントル—地殻の応力場—
9. 小林知勝・大湊隆雄・井田喜明・藤田英輔
……………2000年三宅島火山活動で観測された超長周期地震—カルデラ形成直前に頻発する膨張現象—
10. 河野裕希・松本聡・松島健・植平賢司・清水洋・馬越孝道
……………1990～1995年雲仙火山噴火前に起きた応力場の変化
11. 和田稯隆・長澤可奈子……………紀伊半島中央部、大峯地域の火砕岩岩脈—火砕噴火の推定火道の産状
12. 萬年一剛……………箱根カルデラ—その地下にある潜在カルデラ構造とその意義—
13. 三浦大助・和田稯隆……………陥没カルデラ—テクトニクスの役割—

3章 揮発性成分の動き

14. 山田誠・大沢信二・風早康平・安原正也・高橋浩・網田和宏・馬渡秀夫・吉川慎
…同位体水文学的手法による火山地下水流動系へのマグマ起源CO₂の混入過程の研究—阿蘇火山を例にして—
15. 寺田晁彦・橋本武志……………阿蘇の火口湖「湯だまり」が1,500年間も維持されている理由

4章 カルデラ生成噴火のマグマシステム

16. 高橋正樹……………超巨大カルデラ噴火のマグマ・システム
17. 長谷川健・岸本博志・中川光弘・伊藤順一・山元孝広
……………北海道東部のテフラ層序からみた後屈斜路カルデラ火山活動
18. 松本亜希子・長谷川健・中川光弘
……………北海道東部、屈斜路軽石流堆積物IVの岩相変化からみるカルデラ形成噴火の噴火推移とマグマ供給系
19. 宮城磯治・伊藤順一・Hoang Nguyen・山元孝広・長谷川健・岸本博志・中川光弘
…斑晶累帯構造および斑晶ガラス包有物に基づく屈斜路火山及び摩周火山のマグマプロセスの解明に関する研究
20. 増渕佳子・石崎泰男……………沼沢火山のBC3400年カルデラ形成噴火(沼沢湖噴火)のマグマ溜り
21. 金子克哉・小屋口剛博・高橋俊郎……………大規模珪長質マグマ活動における地殻内マグマ過程—
これまでの研究のレビューと阿蘇火山における新しい知見—

ご注文は〈誌名と通巻番号〉でご指定ください。

号外 **海洋**

ご注文は〈誌名と通巻番号〉でご指定ください。

号外 **海洋**

ご注文は〈誌名と通巻番号〉でご指定ください。

号外 **海洋**

